

春近し。活発な1月、2月の東海地区の大会を三重・静岡・愛知・岐阜とめぐってレポート。

第62回岡崎市大会

1月28日(日)

関西、関東など遠隔地からの参加者を考慮し、スコアオリエンタリングにもかかわらず一斉スタートではなく任意のスタート時刻を選択できるようにした。マイペースで競技できたとの声も聞かれた。

東西3.5km南北1.5kmに設置された44のコントロールを制したのは松澤俊行さんだが、多くは半分も取るのがやっとの状態。

岡崎市広報番組としてテレビが取材。地図をスタートと同時に渡しとしたため、スタートダッシュは見られず、メディアにとっては物足りなかったかもしれない。



レポーターを撮影するテレビカメラ

第2回亀山市民大会

2月11日(日)

関町と2005年1月に合併した亀山市民が市民オリエンタリング大会を開催して2年目。最近暖かかったので、ちょっと寒く感じる。JR亀山駅から南へ1.5kmほどの尾根と湿地が入り組み、小道の多いエリアで開催された。地元三重県から約50グループ、東海、関西からも駆けつけ総勢200名ほどの大会となった。個人クラスではM50AとMAに参加者が集中し、激しい戦いをくりひるげた。広報の遅れも影響し当日参加が多く、当日急遽増刷した。運営者の小八重さんは今後電子パンチシステム運営もマスターしたいと抱負を語って

いた。



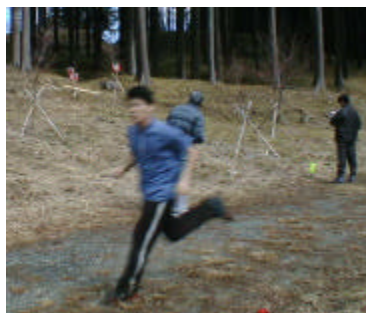
受付にならぶ亀山市民

第4回OLC東海大会

2月18日(日)

前夜からの雨も朝には上がり、10時ごろには青空が広がった。東海学園中高生のオリエンタリングクラブ員が運営する大会も4回目をむかえた。

新城市の道の駅「つくで手づくり村」の芝生広場を競技センターに開催された。フット0に申し込んだ130名のうち、50名余りがフット0の疲れをもともせずトレイル0に挑戦した。



トレイル0の前をゴールへ

岡部町大会兼静岡県民大会

2月24日(土)

静岡市の西側に隣接する岡部町。その岡部町の北部の朝比奈地区で平成14年のわかふじ国体プレ大会から続く大会。朝比奈第1小学校の北東の朝比奈城址の回りに10時から40点まで40個のコントロールにいでむスコア0。各

10個、合計1000点である。城址は急斜面ながらきれいな山。竹林は暖冬の影響か、もうたけのこの早掘りの跡も見られる。「玉露の里」という道の駅も近く、コースに隣接する茶畑も多い。岡部町の名産「たけのこ」と「茶」そして、名物の大型ロケット花火ともいうべき「大龍勢」の打ち上げ塔にもフラ



なんとか、制限時間内に

第2回岐阜県協会大会

2月25日(日)

岐阜県関市の百年公園に愛知、三重から常連さんが顔を見せた。岐阜県オリエンタリング協会が冬場に開催している大会である。地図からの印象より走行可能度がよく、暖かい日和に恵まれ、AL、

AS、B、Nの4クラスで競った。参加者の中には男女別、年齢別のクラスが必要ではないか、という声も聞かれた。



スタート

6月号は以下の内容を予定

- ・愛知県民大会
- ・根の上高原つつじまつり
- ・岡崎オリエンタリング教室
(小野盛光)